

保護者各位

樋川小学校
校長 岩網 清美

保護者・児童アンケート及び内部評価の結果報告

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。以下の通り、結果をご報告いたします。

2学期保護者アンケート

回収率95.5%

項目番号	質問内容	人数					A+B 肯定的 回答 (%)	R5 前期 との差	A3点 B2点 C1点 D0点 による 平均値	R5 前期 との差
		A	B	C	D	無 回 答				
1	子どもは、楽しく学校生活を送っている。	55	27	3	0	0	96.5	0.1	87.1	0.1
2	子どもは、家庭学習（宿題を含む）の習慣が身についている。	23	52	9	1	0	88.2	-1.4	71.4	-0.2
3	子どもは、学校や友達のことをよく話す。	42	35	8	0	0	90.6	2.1	80	1.8
4	家庭では、望ましい生活リズム（早寝・早起き・朝ごはん）の定着に努めている。	31	29	19	6	0	70.6	-8.7	66.7	-4.6
5	家庭では、テレビ・ゲーム、インターネット、メール、LINE、フェイスブック等を使うとき、ルールや時間を決めている。	22	34	21	8	0	65.9	3.9	60.8	-1.7
6	教師は、児童が理解できるようわかりやすい授業に努めている。	51	27	6	0	1	91.8	-5.9	83.5	0.4
7	教職員は、子どもや保護者の思いを大切にしながら関わっている。	53	25	4	2	1	91.8	-3.6	83.5	0
8	教職員は児童の見本となる言動をとっている。	44	34	3	3	1	91.8	-4.8	79.6	-2.4
9	学校は、教育方針や教育活動の内容をわかりやすく、学校・学年だより・保健だより等で伝えている。	44	41	0	0	0	100	9.2	83.9	7.7
10	学校は、子どもたちの健康（健康の保持増進・衛生に関する指導や対策）・安全（設備の整備・環境美化）に注意をはらっている。	46	34	4	0	1	94.1	-2.5	82.4	0

【アンケート結果より】

＜成果＞ 前期のアンケートで課題となっていた項目5「家庭では、テレビ・ゲーム・・・等を使うとき、ルールや時間を決めている」と項目9「学校は、教育方針や教育活動の内容をわかりやすく、学校だより・学年だより・保健だより等で伝えている」のポイントが前回より上回りました。11月の教育講演会「ネット被害について」や5・6年生対象の学校保健委員会「早寝早起

き朝ごはん～メディアの影響について～」の取組も要因の一つと考えています。保護者の皆様もご協力ありがとうございました。

＜課題＞ 項目5のポイントを上回ったものの、昨年度後期のアンケートに比べると未だに9ポイント下がったままの状況です。さらに、項目4「家庭では、望ましい生活リズムの定着に努めている」は前期に少し上昇したものの今回大幅に下がってしまいました。今後、子どもたちに自分の生活を振り返ってもらい、「我が家のメディアルール」など具体的な取組をしていきたいと思えます。

また、項目6「教師は、児童が理解できるようなわかりやすい授業に努めている」は肯定的回答の割合は高いけれど、前期より5.9ポイント下回っています。全体の平均は上回ったことを見ると、一部のお子さんにとってはわからないまま授業が進んでいると受け取られていると言えます。学校教育の「誰一人取り残すことのない『令和の日本型学校教育』」を推進するためには、疑問を自由に質問したり、考えを伝えたりすることが大事になってきます。わからないまま黙っていることのないように、自分から質問するように指導すると共に私たち教師は、子どもたちの学びが深まる授業づくりやそうした風土を心がけていく必要があると感じています。

【ご意見より】 個人名、学年が特定されるものは、個別に対応させていただきます。なお、不明な点があれば、学校までお問合せください。

学級閉鎖のお知らせについて

新聞で学級閉鎖になっている事を知りましたが、マチコミメールなどで詳細等をお知らせして欲しい。具合が悪くなり病院へ行った際、学校で何か流行っていますか？と聞かれても情報がない為答えられないので。

学級閉鎖は、感染症の拡大防止のために行われます。お子さんの学級が閉鎖になる際は、必ず連絡が入ります。内容は、閉鎖の理由と期間、学習活動の提供、再開時の注意事項などです。ただし、他の学級や学年への連絡は、必ずあるとは限りません。感染が局所的である場合やプライバシーへの配慮といった観点から制限されます。感染拡大の可能性がある場合や学校全体に影響が及ぶ可能性がある時は、他の学級の保護者にも連絡いたしますが、その時の状況によって判断しています。申し訳ありませんが、ご理解をお願いします。

アンケートの質問について

(項目6から10について) いつもこの質問があるが、常に学校にいないので、学校のことは全くわからない。

保護者アンケートは、学校運営や教育の質の向上のための大切な情報源となります。また、保護者の皆様の意見や疑問を知ることで、学校は適切な対応を取ることができます。授業参観や運動会などの学校行事を通してお子さんの様子をご覧になり、できるだけ回答していただければ有り難いです。

P T A活動について

- ・学年P T Aの活動内容と役員的人数が適正であるか検討して頂きたい。
- ・P T Aで夜に学校に集まる回数を減らしてほしい。子どもを置いて行かなければいけないので、時間も短くしてほしい。

本校でも毎年一度、来年度の活動内容等に関する見直しを行っています。最近では令和3年度に2つの専門部会を1つに編成し、役員的人数を減らします。また、学年P T Aの活動内容は、決められているものではなく、その年の学年委員さんが企画・実行しています。具体的なお考えがあるようでしたら、役員さんか学校にご連絡をいただければと思います。

役員会の回数ですが、その時々に必要なことを議論するため、減らすことは難しいかと思えます。一方、専門部会に関しては、現在学校で集まることなく、活動されています。それぞれご家庭の事情もありますので、出られる時間だけ出るとか欠席される場合は、学校か他の役員の方に意見を託していただければ有り難いです。また、そうできるように、学校では事前に資料を配付するように努めます。

欠席後の学習フォローについて

子供が体調不良で休んだ時、授業がどんどん進んでいき、新しく学習するところがわからなくなります。先生によっては、フォローしてくれることもあるようですが、子供に教科書を見て勉強しておきましょうでは、理解するのも難しいことがあります。(一部省略)

ご意見ありがとうございます。欠席時に進んでしまった学習内容について、授業者としてフォローするのは当然のことです。実際に「教科書を見て勉強しておきましょう。」という事実があったとすれば遺憾なことです。全職員一同、ご指摘いただいたことに留意し、今後もより一層気をつけていきます。

計画的な指導について

やるべきことを先生自身が忘れているのか、子供へ伝えるのが遅いと思う。(中略)他の学年は早くに作品を完成していたと聞きました。子供を焦らせて提出させていますが、そもそも先生の段取りがどうだったのか疑問です。

図工の作品は、教育課程上制作時間が決まっていることもあり、授業者は子どもたちの実態を踏まえて教材や内容を選定しています。しかし、こうした作業を伴う学習においては、進度に個人差が見られることも少なくありません。全員時間がかかるようであれば、教材の工夫は必要ですが、少人数の遅れの場合は、放課後等の時間を利用して取り組むこともあります。子どもたちには、作業にかけられる時間を予め伝え、見通しをもって取り組めるように働きかけていきます。

	質問内容	人数				A + B 肯定的 回答 (%)	R 5 前期 との差	A 3 点 B 2 点 C 1 点 D 0 点 による 平均値	R 5 前期 との差
		A	B	C	D				
1	あなたは、学校に来るのが楽しいですか。	56	27	6	0	93.3	1.3	84.3	0.2
2	あなたは、宿題をわすれずにできていますか。	64	22	3	0	96.6	3.4	88.4	-1.8
3	あなたは、家の人と、学校や友達のことを話しますか。	70	12	6	1	92.1	-1	88.8	1.7
4	あなたは、早寝・早起き・朝ごはんを守って生活していますか。	43	34	11	1	86.5	0.2	76.8	-2.4
5	あなたは、家でテレビ・ゲーム・インターネットなどをつかうとき、ルールや時間を守っていますか。	33	30	19	7	70.8	-11	65.5	-9.1
6	あなたにとって、授業は楽しくわかりやすいですか。	60	24	5	0	94.4	1.2	86.1	-1.4
7	あなたは、授業中、先生や友達に自分の意見を伝えていますか。	54	30	4	1	94.4	-1.1	83.5	-6.7
8	あなたは、授業中、わからないことがあるとき、先生に質問することができますか。	43	25	17	4	76.4	-10	72.3	-6.5
9	先生は、自分が学習で努力したことをみとめてくれますか。	62	21	4	2	93.3	-3.3	85.8	-2.8
10	あなたは、健康や安全に気をつけて行動していますか。	64	20	5	0	94.4	1.2	87.6	1.6

【アンケート結果より】

<成果> 項目2「あなたは、宿題を忘れずにできていますか」は、前回15ポイント上昇しましたが、さらに3.4ポイント上昇しました。一方、同様の保護者アンケートでは、わずかに下回っています。こうした差がどうして生じるのか、今後注視したいと思います。

<課題> 項目5「あなたは、家でテレビや・ゲーム・・・等を使うとき、ルールや時間を守っていますか」と項目8「あなたは、授業中、わからないことがあるとき、先生に質問することができますか」は、さらに10ポイント以上も下回りました。児童アンケートと同様の保護者アンケートを比較してみると、児童ががんばっていると思うほど、保護者の方はがんばっていると思えないようなずれが見られます。あるいは、その逆も見られます。「～なところが、がんばっているね。」「もう少し〇〇なところをがんばるといいよ。」など、具体的に価値づけたり、ご家庭でも励ましたりすることが大切だと感じます。

項目8に関して、質問をする対象が教師だけでなく、児童同士というのは“協同的な学び”を推進する上で、大変重要なことだと捉えています。したがって、教師に質問しなくても児童同士で学び合う姿や解決に向かう姿が多く見られるようになってきている現状を考えると、この数値は決して低いとは捉えていません。今後は、質問内容に“友達”を加えるなどして、変更

を加えたいと思います。

また、項目4「あなたは、早寝・早起き・朝ごはんを守って生活していますか」に関しても、前回は9割に満たなかったため、睡眠時間についての学習や強化週間を設けましたが、改善されませんでした。今後は、目標の設定→実施→ふり返りで行動の改善ができるような対策を立てていく必要があります。

内部評価項目（令和5年度）

- 基本目標 1 確かな学力をはぐくみ、自ら課題を見つけ主体的によりよく解決できる力の育成をめざします
- 基本目標 2 豊かな心をはぐくみ、健やかな身体と体力の増進に努めるたくましい人づくりをめざします
- 基本目標 3 安心・安全で、魅力ある教育環境づくりをめざします
- 基本目標 4 学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上をめざします

【評価基準】 A:十分なされている B:概ねなされている C:あまりなされていない D:なされていない

基本目標	項目	評価内容	人数(人)				肯定的回答(A+B)	R5前期との差	A3点B2点C1点D0点による平均値	R5前期との差
			A	B	C	D				
3	(1)組織的な学校運営	1 校内研修会やOJTが計画的に実施されているか。	7	4			100	0	87.9	7.9
		2 自分の校務分掌について、計画・実施・反省を行い次回に上げたか。	4	7			100	0	78.8	-1.2
		3 学校は安心・安全な学校づくりに努めていると思いますか。	7	4			100	0	87.9	-2.1
		4 保育所・小学校・中学校・高校等の連携がうまく図られているか。	4	7			100	0	78.8	5.5
1・2	(2)学習指導の充実	5 ロードマップに沿った学力向上対策が実施できたか。	5	6			100	0	81.8	-4.9
		6 学校研究の共通取組を意識して授業実践できたか	9	2			100	0	93.9	0.6
		7 朝自習や朝読書等の充実が図られたか。	8	3			100	0	90.9	4.2
		8 学習規律や学習習慣についての指導ができたか。	7	4			100	0	87.9	-2.1
		9 家庭学習・家庭読書についての指導ができたか。	4	7			100	0	78.8	-1.2
		10 外国語活動の充実を図られたか。	6	5			100	0	84.8	-1.9
		11 道徳の授業の充実を図られたか。	3	8			100	0	75.8	-0.9
		12 体力向上に向けた取組(スポチャレや業間の取組を含む)ができたか。	4	7			100	0	78.8	2.1
		13 児童一人一人に学びの楽しさと充実感を味わわせる授業が実践できたか	4	7			100	0	78.8	-1.2
		14 一人一台タブレット端末を活用した授業(指導)ができたか。	8	3			100	0	90.9	4.2
1・2	(3)生徒指導の充実	15 生活目標に対して、具体的取組ができたか。	7	4			100	0	87.9	4.6
		16 特別支援教育で、児童生徒のニーズに応じた支援が図られたか。	7	4			100	0	87.9	17.9
		17 挨拶、ことば遣いについて指導できたか。	4	7			100	0	78.8	-11.2
		18 清掃指導ができたか。	5	6			100	0	81.8	-14.9
		19 食育を行い給食指導ができたか。	5	6			100	0	81.8	-1.5
		20 「いじめ」「不登校」について、予防・把握・指導ができたか。	9	2			100	0	93.9	13.9
		21 子ども一人一人に居場所がある学級経営に努めているか	7	4			100	0	87.9	7.9
22 児童理解について、共通理解が図られているか。	10	1			100	0	97.0	7.0		
4	(4)家庭地域との協働	23 家庭・地域への情報発信(新聞、学級だより、保健・給食だより、ホームページの更新)が行われているか。	6	5			100	0	84.8	-1.9
		24 教職員は、地域の行事等に積極的に参加し、地域からの意見をとり入れようと(受信)しているか。	6	5			100	0	84.8	14.8
		25 児童・生徒の学校行事、地域等への参加を家庭・地域に呼びかけているか。また、児童生徒は参加しているか。	4	7			100	20	78.8	18.8
3	(5)その他(職員の服務態度)	26 教職員は、互いに協力しながら児童の指導をしているか。	9	2			100	0	93.9	3.9
		27 教職員は、服装、髪、言動等児童生徒の模範となっているか。	3	8			100	0	75.8	-0.9
		28 教職員は、危機管理に対する意識を持ち、有事に直ちに対応しているか。	6	5			100	0	84.8	4.8
		29 教職員は、働き方を意識し、校務の効率化に取り組んでいるか。	6	5			100	10	84.8	8.1
		30 「石川の教員育成指標」による自己ステージを意識して目標をもって取り組んだか。	7	4			100	0	87.9	7.9
		31 誇りややりがいをもって仕事ができている	5	6			100	10	81.8	1.8

【所見】

○成果 ▲課題

- 項目 2 ▲道徳のことについてもっと計画すべきだった。
- 項目 6 ○シンプルな提案で、取り組みやすかった。
- 項目 8 ▲学級の差があるように感じる。定期的にチェックをして意識付けをさせたい。
▲複線型で他児の意見を聞きに行ったり、個別でプリントを用意すると立ち歩きのようになってしまうこともあり、学ぶために移動しているという規律が不足。
- 項目 11 ▲他校で実施していたことをOJTで伝え、自分でも試してみたが、上手くいかず、その後先生方とまだ共有したり広めたりできていない。
- 項目 12 ▲スポチャレの取組に学年差が見られる。
- 項目 17 ▲昨年の挨拶カードがなくなり、意識が低いように思う。
- 項目 24 ○地域の祭礼に参加する先生がいて喜ばれた。
- 項目 31 ○悩むこともあったのですが、(中略)がんばろう！となりました。ありがとうございました。

【アンケート結果より】

平均値で見ると、項目 16, 20, 24, 25 で、10 ポイント以上上回り、項目 17「挨拶、ことば遣いについて指導できたか」、項目 18「清掃指導ができたか」で10 ポイント以上（10 ポイントで約3人が評価を一つ上げたり下げたりしたことになる）下回った。

<対策>

項目 2・11

- ・来年度に向けて、重点目標の見直しのための研修会や授業についての提案をコーディネーター中心で実施する。
- ・研究の取組「ふらっと参観」でコツをつかんだり、互いに相談し合ったりして進める。

項目 8：学習規律について、全学年でこれだけは身につけさせたいという項目を挙げて取り組ませる。

項目 12：体育担当教師が中心となって声かけをし、全職員で取り組む。

項目 17：代表委員会の児童と話し合い、全校児童の挨拶への意識が高まるような取組や声かけをする。

項目 18：清掃指導の確認と徹底

何かご不明な点などがございましたら、学校までお問い合わせください。

樋川小学校 教頭（29-2044）